

3月定例会

一般質問

3月定例会では15人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

今号では各議員による複数の質問の中から一部を選んで掲載しています。

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

質問のみで1人40分。質問回数は制限なしとしています。※反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

P16右下の二次元コードから高山市議会YouTubeにて各議員の一般質問をご覧いただけます。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

部活動の地域移行と校則の透明化について

新政たかやま

中村 匠郎



問 部活動の地域移行に伴う移動ルールや保護者送迎負担の軽減策は、現在どのような検討がなされているか。また、学校規則と校則はどのような手続きで制定・改正され、生徒や保護者の意見がどのように反映されているのか。

答 地域クラブ等への移動については、申請を受け校長が判断する特別許可の共通ルールが整理された。校則については、児童会・生徒会やPTAを通じて寄せられた声をもとに検討する仕組みがあり、今年度は全校で校則の見直しをテーマに交流・検討が進められている。今後は①保護者の費用負担の軽減、②熱中症予防、③児童生徒目線で校則の見直しを検討する。

林野火災への備えは

新政たかやま

西田 稔



問 消防団の装備や山間部での消火活動の体制は。

答 山間部における消火戦術としては、谷川や池といった自然水利を確保し、消防ポンプ自動車などへの中継による放水や、消防団員が背中に背負う消火水のうでの消火活動、チェーンソーを使った延焼防止ラインの設定などのほか、ドローンによる延焼状況や、焼失範囲の確認なども行う。広範囲かつ複数の消防団各班が出動する事となり、団長又は支団長を指揮隊長とする現場指揮本部を設置し、活動統制を行う体制としている。



障がい者活躍支援について

新政たかやま

榎 隆司



問 障がい者が描くアート作品を、市の封筒などに使用できないか。また、特別支援学校のビルクリーニングの授業のために、公共施設を開放できないか。

答 アート作品の活用について検討していく。また、クリーニング授業については、特別支援学校からの意向を確認し、具体的なニーズや実習内容を伺いながら実施について検討を進めて行く。

